

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度(昭和38年度)	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	09 上水道及び簡易水道
事務事業名		06	水質管理事業
		根拠法令・例規等	水道法・公益事業法
		担当課(室)	水道課
		職・氏名	施設係長・吉栖 満
		電話	0869-66-9794
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者
目的(何のために)	市民へ供給する水道水として水質基準に適合する浄水の水質管理を行い安全で良質、しかも安価な水道水の安定給水をするため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水質基準に適合した安全な水を市民へ供給する。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目) 13ヶ所年1回	
		水質検査(浄水省略不可項目) 13ヶ所年3回	
		水質検査(原水・浄水簡易項目) 13ヶ所年8回	
		水質検査(水質管理目標設定項目) 4ヶ所年1回	
		水質検査(原水指標菌) 32ヶ所	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		6,152	6,249	6,266	
	必要人員(人件費)	千円	0.47人	4,270	0.88人	8,303
	事業費		10,422	14,552	12,536	
	国県支出金					
	受益者負担		10,422	14,552	12,536	
	財源	千円				
繰入金						
その他( )						
一般財源						
受益者負担比率	%		100.0%	100.0%	100.0%	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	説明	水質検査(原水・浄水基準項目)				
	結果指標量	事業	13	13	13	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,069,500	2,066,400	2,060,100	
単位当たりコスト		159,192	158,954	158,469		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
水質基準の適合率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
定期水質検査の結果が水質基準に適合している割合					

事務事業の評価			
有効性の評価	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>A</b>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>A</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	引き続き水質基準適合率100%を維持するよう努める。					

総合評価	
水道事業にとって水質管理は重要であり今後も厳しくなる水質基準に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術の向上に努める。	評価区分 <A-E> <b>A</b>

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き水質基準の適合率100%を維持していく。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標